

上 田 勉

新年あけましてお目出とうございます。今年も「気仙沼通信」をよろしくお願い致します。

気仙沼市の復興

今年の4月から、被災地の復興は5年目に入ります。復興庁の復興期間は5年間ですが、とても5年間では復興できません。平成27年度から気仙沼市でも、防災集団移転事業(団地の造成)や災害公営住宅(被災者のアパート)の建設が少しずつ完成します。仮設住宅の被災者達は、自力で家を再建したり、災害公営住宅に入居します。私の居住している仮設住宅は、平成28年度(29年3月)までは居住できるみたいです。

海と生きる一気仙沼

気仙沼は、漁業と水産加工業の街です。カツオの漁獲量は、18年連続で日本1位、去年のサンマの漁獲量は、大船渡を抜いて日本2位でした。市の産業は7~8割が水産加工業です。業種が水産加工業に隔たっているために、産業の復興は遅れています。また、水産加工業は原料を輸入することがあっても、製品を輸出することは少ないです。典型的な内需産業です(外国人は塩辛を食べるか)。そのために、政府と日銀が進める“円安ドル高と燃料高”の政策によって、水産加工業は厳しい経営状況が続いています。

気仙沼市—平成26年度から過疎自治体に指定

気仙沼市の人口は、人口予測では、2040年には2011年(3・11の震災前)の4割減少になります。人口7万人が4万2千人になる予測です。

気仙沼市では、高校を卒業した若者の大半が、就職や進学のために、仙台等の他都市へ出て行きます。高齢化・過疎化が少しずつ進んでいたのが、3・11によってより加速化されました。

私の仕事

私は、小さな漁港の防潮堤事業を、2年間担当してきました。平成27年度には、最初の工事が始まる見込みです。私は仕事が遅いのか、仕事量が多いのか、私の仕事は溜まる一方です。

防潮堤事業での用地買収や建物移転の補償で、地元の方達と話す機会が多くなりました。たいてい自宅に上がらせてもらって、話しをします。地元の方からは、「早く建物の補償をしてくれ。早く工事をしてくれ」と叱咤される機会が多いです。

私のこと

私は気仙沼へ来て、漁港や集落、海岸の素晴らしさを初めて実感しました。しかし、気仙沼市には、夜散歩できる街がありません。映画館やマクドナルド也没有ありません。私の住んでいる仮設住宅は、住宅としては高級ですが、それでも夜は寒いです。

私の任期は、来年(平成28年)の3月までです(ただし首にならなければ)。是非、気仙沼へ、被災地に来て下さい(できればお金を持って)。お待ちしております。

【岩井崎の日の入り一日の出は起きられないので（気仙沼市）】



【護岸工事の現場で（大島の横沼漁港海岸）】



私の住所：〒988-0238 宮城県気仙沼市長磯中原 125 階上 (はしかみ) 中学校住宅 16-5
携 帯：090-5300-4664
メールアドレス：p-mia087@nifty.com

